



KCC 片倉コープアグリ株式会社

事業取り組み紹介

2026年5月25日



肥料事業

持続可能な農業の実現に向けた
当社製品と技術の展開

製品情報サイト

詳しい製品情報はこちら▶

[肥料製品情報サイト | 片倉
コープアグリ株式会社](#)



片倉コープあぐりチャンネル

動画をチェック▶

[片倉コープあぐりチャンネル -
YouTube](#)





マイクロプラスチック問題に対応した新商品展開

省力化と施肥効率の向上に資する新商品を展開し、ドローン施肥や水口施肥など多様な施肥体系への対応を進めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS KCC 片倉コープアグリ株式会社

プラスチックを使用した被覆肥料に頼らない農業実現のために

取組みのご紹介



<p>1 周知</p> <p>被覆肥料にプラスチックが含まれていることを周知していきます。</p> 	<p>2 徹底</p> <p>プラスチック被覆殻の農地からの流出防止を徹底していきます。</p> 	<p>3 普及</p> <p>代替技術を普及していきます。</p> 
--	---	--

プラスチックを使用した被覆肥料に頼らない農業の実現に向け、当社グループの取り組みをHPに公開しています。

[プラスチックを使用した被覆肥料に頼らない農業実現のために](#)

ドローン施肥

CORON D-Spray

原液散布が可能な省力型の液体肥料で、希釈の手間を省きながら効率的な追肥を実現する新商品です。

【特徴】

- 原液散布に対応し、希釈の手間を軽減
- 小型ドローンによる効率的な追肥作業が可能
- 補給回数の低減や作業時間の短縮を通じて省力化に貢献
- スマート農業に対応した新たな施肥提案として展開



流し込み液肥

ひろがるくん NK

水口施肥により省力的な追肥を実現する水稲用液体肥料です。水田に入らず20分程度の短時間での流し込み施肥で省力化と施肥ムラの低減を両立します。



プラスチックを使用した被覆肥料の使用低減に向けた省力施肥提案として、作業負担の軽減と施肥効率の向上に貢献します。



資源循環の取り組み ～循環型農業プロジェクト始動～

持続可能な農業の実現に向けて、国内肥料資源の活用に取り組んでいます。

当社グループは、地域で発生する未利用バイオマス資源の肥料原料化を通じて、循環型農業を推進します。国内肥料資源を有効活用し、持続可能な農業生産体制を支えることは肥料メーカーの重要な使命です。本プロジェクトは「みどりの食料システム戦略」にも資する取り組みです。

えのき茸生産量日本一



‘きのこ使用済み培地’の有効活用に関する連携協定を締結



日本一のきのこ産地のバイオマス資源とトップ肥料メーカーの製造技術を掛け合わせ、付加価値の高い資材の開発を目指す
キーワード：国内未利用資源の活用、資源循環の促進、化学肥料使用量の低減



きのこ生産に伴い発生する使用済み培地

- 今後の取り組み
- ・製品化に向けた技術開発・実証試験
 - ・JA中野市管内の果樹・野菜栽培等での活用拡大
 - ・広域流通も視野に入れた地域循環型農業の確立に向けた取り組み

- 「みどりの食料システム戦略」KPI
(農林水産省)
- ・2030年迄に化学肥料使用量▲20%
 - ・2050年迄に化学肥料使用量▲30%
 - ・2050年迄に化学農薬使用量▲50%



連携協定調印式の様子
(2026年3月)



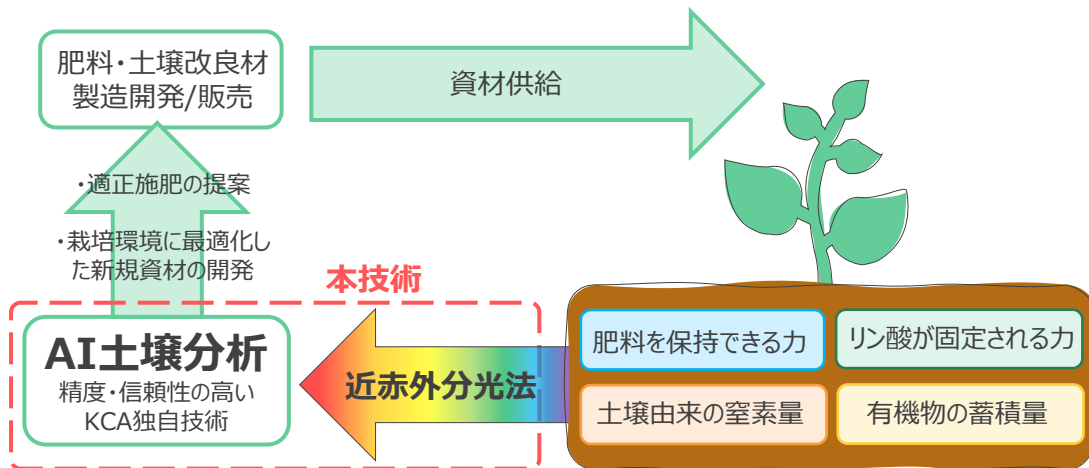
近赤外分光法を活用した土壌分析技術の実装

「近赤外分光法」×「独自のAI技術」による次世代土壌分析技術の開発

農業分野では、持続可能な農業の実現に向け、土壌診断にもとづく適正施肥の重要性が高まっています。一方で、従来の土壌分析は、専門設備や分析技術が必須である点、分析に時間を要する点が課題となっていました。当社グループでは、近赤外分光法と独自AI技術を組み合わせた次世代土壌分析技術を開発しました。

▶ **社外向け有料分析サービス：2025年7月より、本技術による土壌分析サービスを開始しました。**

土壌の様々な特性を **非破壊/迅速/一斉評価**



本技術の提供価値

	従来法	当社技術
前処理	必要	不要
分析所要時間	項目数により数日～数週間	1分以下/試料
1度に評価可能な項目数	1項目のみ	複数項目を一斉評価

本取り組みの一部は（農林水産省）令和3、4、5年度みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業スマート農業総合推進対策事業のうち、データ駆動型土づくり推進事業（土づくりイノベーションの実装加速化）に基づき実施

- ・非破壊・迅速分析により、より多くの土壌分析に対応可能
- ・分析の迅速化により、スピーディーな施肥提案を実現

高温・乾燥等の環境ストレスへの対応ニーズが高まる中、バイオスティミュラント資材（以下、BS材）は**作物の健全な生育や収量・品質の安定化に寄与する資材**として注目されています。

当社グループは、製品の拡充および普及活動を通じて、農業現場の課題解決に貢献してまいります。

■ 当社グループのBS材

<h3>ストロングリキッド</h3> 	<h3>ソイルサプリエクス</h3> 	<h3>スキープン</h3>  <p>(2025年4月より販売)</p>
<h3>ユートリシャ™N</h3>  <p>(2025年6月より販売)</p>	<h3>マイコアップ™(菌根菌資材)</h3>  <p>NEW</p> <p>(2026年5月より販売)</p>	

2025年度に2銘柄、2026年度に1銘柄上市し、現在5銘柄ラインナップを展開しております。

■ 学会・展示会・農業専門媒体を活用した普及活動

学会・展示会での紹介や農業専門媒体での情報発信に加え、当社YouTubeで公開しているBS材関連コンテンツも大きな反響を得ており、認知拡大と普及促進に寄与しています。



日本土壌肥料学会2025年度

(一社)日本土壌協会発行
情報誌に掲載

BS材関連動画が20万回再生を突破
(2026年5月時点)

■ ユートリシャ™N普及会発足

ユートリシャ™Nに関する認知拡大と普及促進を目的として、関係会社と普及会を発足しました。今後は情報発信や現場提案を通じて、理解浸透と導入拡大を進めてまいります。





農場グループの活動



社会貢献・コミュニティ活動の一環として、茨城県つくば市内の未利用農地を活用して立ち上げた農場を「**KCAみらいばたけ**」と命名し、さまざまな取り組みを行っています。今後も、地域社会とのつながりを深め、持続可能で明るい未来の創造を目指して活動してまいります。

【地域向け情報誌掲載】

つくば市の農業を通じた地域活性化に取り組む「ワニナルプロジェクト」発行の「ワニナルペーパー」に、当社の農場グループが掲載されました。当社グループの取り組みや地域との関わりを紹介いただき、認知向上や地域住民との接点拡大につながっております。



ワニナルペーパー掲載抜粋ページ

【外部研修会での農場活用】

土づくりをテーマとした外部主催のオンライン研修会の現地会場として活用されました。土壌に触れながら学ぶ実践的な講習の場として利用され、農業技術や知見の普及に貢献しております。



セミナー開催案内



オンラインセミナーでの実践講演

【人材育成・社内交流の推進】

農業に関する基礎知識と現場感覚の習得を目的に、**新入社員向けの研修を実施**しています。あわせて、野菜収穫体験などを通じ、**社員間の交流促進**とエンゲージメント向上に資する取り組みを推進しています。



野菜収穫体験の様子



新入社員研修

【農業用ビニールハウスの新設】

2025年6月、**農業用ビニールハウスが完成**しました。本ハウスには自動灌水設備および環境制御システムを備えており、現在、トマトやシャインマスカットの栽培を進めるとともに、**BS材の効果検証**にも取り組んでいます。

ハウス内栽培のミニトマト



約500㎡農業用ハウス



中長期成長戦略の進捗

中長期成長戦略で掲げた肥料事業の構造改革は、計画通り進捗しております。

1. 管理体制の再編成

2026年4月より、製造機能と販売機能を分離し、それぞれの専門性を高める体制へ再編いたしました。本社主導の経営管理体制のもと、広域エリア制による柔軟かつ戦略的な営業体制を構築し、経営判断の迅速化および業務効率の向上を図っております。

2. 生産拠点の集約・合理化

中長期成長戦略では、子会社を含む15工場を対象に2027年度までに9工場体制へ集約する方針です。

【2025年度の進捗】

生産拠点再編は**計画に沿って進捗**しております。

- ✓ 宮古工場・塩釜工場：液肥生産終了
- ✓ 新潟工場：石灰窒素生産終了
- ✓ 千葉工場：化成肥料生産終了
- ✓ 姫路工場：一部品目の生産終了を**前倒し**で実施

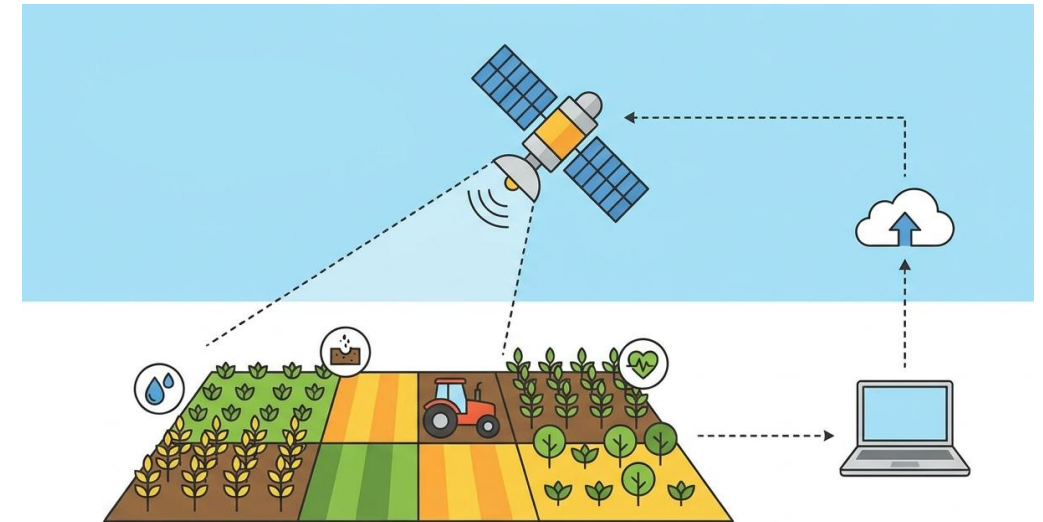
【2026年度の再編予定】

- 生産終了、販売物流拠点へ転用
 - 9月** 名古屋工場・山川工場・門司工場（※門司工場は閉鎖）
 - 1月** 大越工場
 - 3月** つくば工場
- 姫路工場：液肥、ペースト肥料の生産終了

3. 農業ソリューションの展開

農業現場で求められる多様なニーズに対応した製品・サービスを拡充することで、肥料メーカーとしての役割を拡張してまいります。

- ✓ リモートセンシング営業ツール**プロトタイプを2025年度に完成**
→2026年度は社内にて試験運用を開始、データ獲得・知識蓄積を加速
- ✓ 近赤外分析およびBS材普及活動に向けた取組は p.5～6参照



化学品事業

国内外市場へ向けた販売強化

製品情報サイト

詳しい製品情報はこちら ▶

[【化粧品原料】片倉コープアグリ
株式会社 - YouTube](#)



認知拡大および新規顧客の開拓を目的として、国内外の展示会に積極的に出展しています。
各会場でのネットワーキングを通じて、最新の市場把握を進めるとともに、最適なソリューションを提案しています。

CITE JAPAN 2025

2025年5月14日(水)～5月16日(金)／パシフィコ横浜
新原料として「育毛を目的に開発した頭髪用原料(成分名：コウホネエキス)」と
「カルチャーコラーゲン(表示名称：ヒトコラーゲン)」を発表いたしました。



展示内容



展示会の様子



in-cosmetics asia 2025

2025年11月4日(火)～11月6日(木)／バンコク
東南アジアで最大級の化粧品原料展示会。
東南アジアメーカーへの提案機会を創出しました。



展示会の様子



当社ブース



PCHi 2026

2026年3月18日(水)～3月20日(金)／中国・杭州
中国最大級の化粧品・パーソナルケア・ホームケア分野の国際展示会。
市場を見据えた製品訴求と販路開拓に取り組みました。



当社ブース



Indonesia Cosmetic Ingredients 2026

2026年5月6日(水)～5月8日(金)／ジャカルタ
拡大するインドネシアマーケットに対する最適なソリューション
提案を行いました。
出資先であるインドネシア化粧品販売商社「TAKAHA社」
と連携し、東南アジア諸国への販売強化および新規顧客
開拓を進めております。



展示会の様子



展示内容



天然由来素材

×

醗酵技術

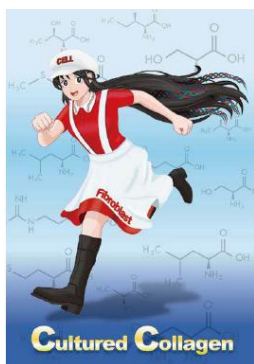
特殊抽出技術

↓ 差別化を実現

天然由来素材に当社独自の醗酵技術や特殊抽出技術を融合することで、素材の機能性と付加価値を高めた、肌本来の力を引き出す独自の原料を開発しています。

独自原料

培養技術を用いて開発した『カルチャーコラーゲン』の拡販



カルチャーコラーゲンは、従来の異種動物由来のものとは異なり、当社独自技術を用いてヒト細胞が産生したコラーゲンを精製した、次世代型の化粧品原料です。

【特徴】

- ・ヒト細胞由来のコラーゲン
- ・表示名称「ヒトコラーゲン」
- ・真皮層のコラーゲン密度向上作用
- ・抗炎症作用

医薬部外品対応
育毛用原料『コウホネエキス』上市

NEW



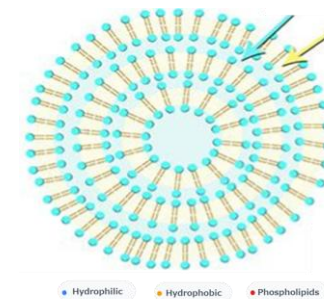
コウホネエキスは、一般的に漢方処方に用いられるコウホネを原料として開発したもので、男性ホルモンと受容体との結合を阻害し、頭皮環境を改善する作用を有します。

【特徴】

- ・生薬にも用いられるコウホネ由来
- ・医薬部外品対応
- ・皮脂分泌抑制作用
- ・過酸化脂質生成抑制作用

独自『リポソーム技術』
を利用した新規素材の提案

NEW



リポソーム構造
(模式図)

高精度な多重層リポソームおよびナノ化技術により、新たな機能性とユニークな感触を持つ原料を提案できます。これにより、付加価値の高い処方提案と差別化を実現いたします。

【特徴】

- ・親水性・疎水性成分の内包が可能
- ・ナノサイズでの高精度な粒径制御
- ・不安定な有効成分の保護と安定性向上

環境負荷の低減とリサイクル性向上に貢献するサステナブルな素材として、独自技術で合成した『合成マイカ』を展開しております。化粧品から先端電子材料、包装資材まで幅広い産業の高度化に貢献します。

化粧品原料用途

① 環境負荷軽減に貢献するメイクアップ原料

海洋汚染の原因となるマイクロプラスチックビーズに代わる、環境に配慮した多機能メイクアップ原料として展開しています。

② UVケア製品向けの展開

肌への安全性を確保しながら、化粧品の紫外線防御性能を向上させる素材として提供しています。

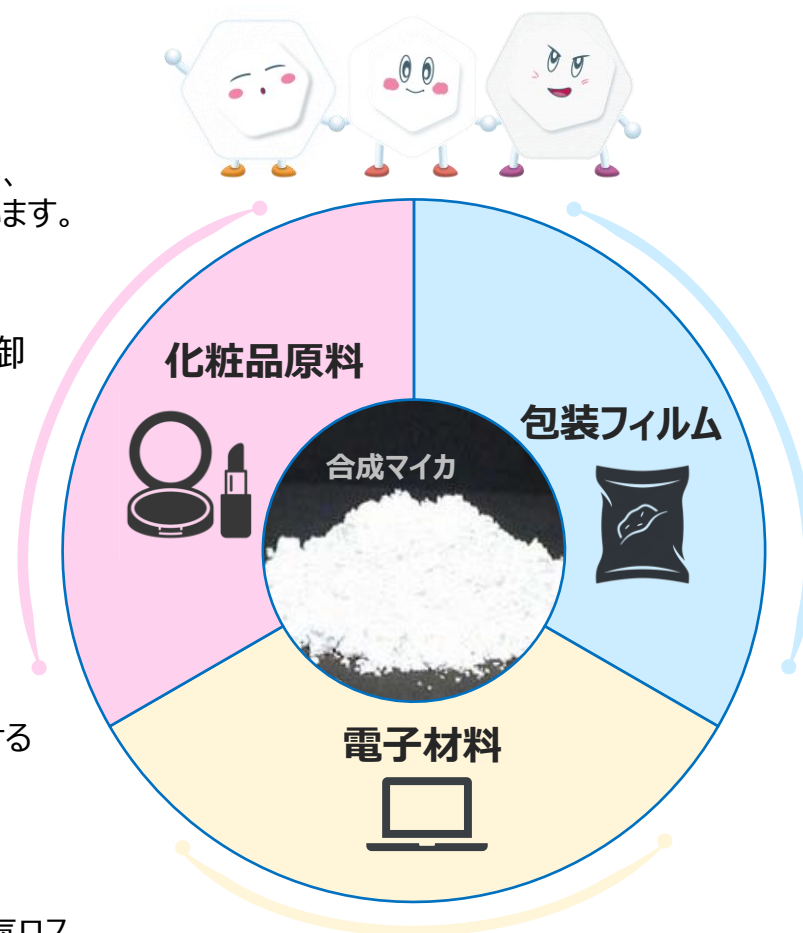
電子材料用途

① 透明電材用素材としての展開

ディスプレイやタッチパネル向けの液晶AGフィルムにおける反射防止用途として推進しています。

② 基板向け機能性素材の開発

電子材料の高周波化を背景に、電力効率の向上と電気ロスの低減に寄与する素材の設計開発を進めております。



包装フィルム用途

① バリア包装フィルムへの利用

環境意識の高まりでリサイクル可能なモノマテリアルフィルムの需要が増す中、当社は合成マイカの高いバリア性を活かし、食品パッケージの開発と海外展開を加速しています。

② 紙素材へのバリア性付与

欧州の環境規制で紙系包装材の開発が進む中、当社はバリア性を付与する合成マイカのグローバル展開を推進しています。

工業用、食品添加物用リン酸は、中国広西壮族自治区防城港市に1993年に設立した合併企業〈防城天睦化工有限公司〉において生産し、ケミカルタンカーで日本に輸入、国内のお客様に販売しております。

リン酸は工業用（金属処理、洗浄、水処理など）から食品添加物（酸味料、pH調整剤など）まで幅広く使用されています。

当社は新潟工場の専用タンクと港湾立地を活かし、高品質な製品を安定供給しています。また、台湾、インドネシア、ベトナムなどへの海外展開を推進し、新規顧客の開拓に取り組んでいます。



【足元の取り組み】

- HALAL/KOSHER認証を活用した販路拡大
- 三国間貿易を活用した海外マーケット展開
- 中国国内向け販促活動の推進
- 新潟港湾を活用したタンク事業の新規スキームおよび新商材検討

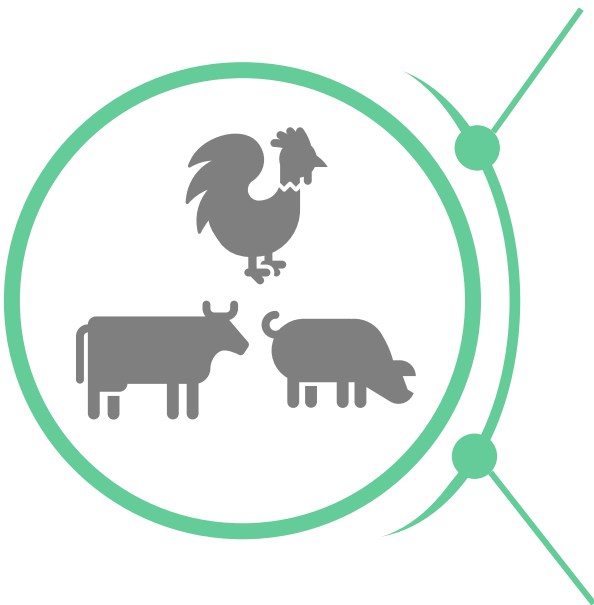




リン酸カルシウムや炭酸カルシウム等の飼料原料や飼料添加物を取り扱っております。
動物の成長を支える生命の基礎ミネラルである「リン酸カルシウム」を中心に、畜産生産を支える飼料原料の継続的な供給を通じて、日本の畜産業の基盤を支えております。

【全国ストックポイントによる供給体制】

- ◆ 高品質なリン酸カルシウムを海外から調達するとともに、自社工場でも製造し、安定した供給体制を確立しています。
- ◆ 全国のストックポイントを基盤に、広範な供給網を構築しています。



【事業拡大に向けて】

既存の飼料原料に加え、他社原料や飼料添加物の輸入販売を検討しています。
今後は取扱商材を拡充し、事業のさらなる拡大につなげてまいります。






中長期成長戦略の進捗

中長期成長戦略で掲げた化学品事業のロードマップは、概ね計画通りに進捗しております。今後も収益基盤の強化、サステナビリティの推進、海外展開を加速させるとともに、本事業を当社グループの成長を支える中核事業として一層強化し、早期の成果創出と事業拡大を目指してまいります。

	有機素材	無機素材	化成品
2025年度 の進捗	<ul style="list-style-type: none"> ✓ TAKAHA社との連携のもと、インドネシア市場向けの販促活動を着実に拡大 ✓ 醗酵・特殊抽出技術および独自の『リポソーム技術』を活用した新規素材の開発着手 ✓ 高機能化粧品原料の市場投入・販売強化 	<p>合成マイカの海外展開強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 化粧品用途：UVケア製品向け、紫外線防御性能向上素材として展開 ✓ 包装フィルム用途：食品パッケージや紙素材へのバリア性付与素材として販促 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ HALAL/KOSHER認証を活用した国内販売の強化 ✓ 三国間貿易による海外市場の開拓 ✓ 飼料用リン酸・炭酸カルシウムの安定供給 ✓ 新たな飼料商材の開拓推進
2026年度 の予定	<ul style="list-style-type: none"> • インドネシアでの展開を基盤に東南アジア諸国へ販路拡大 • HALAL、ヴィーガン認証製品の拡充と対象国への販促 • 次世代機能性化粧品原料開発・市場投入 	<ul style="list-style-type: none"> • 包装フィルム用途：欧州PPWR規制を見据えた需要開拓を推進 • 電子材料用途：機能性素材としての設計および販促 	<ul style="list-style-type: none"> • 成長性の高いリン酸化合物の探索 • 海外展開やHALAL認証を活用した新規市場への参入 • 新飼料商材の販促検討 • 広範囲な販売網を構築



不動産事業



安定収益化と財務基盤への貢献

当社は、保有資産の収益性を継続的に検証し、運用効率の最適化を推進しております。
KCA SHIBUYA bldg.は2025年8月に竣工し、2026年度以降は通期での安定的な賃料収入を見込んでいます。
今後も保有不動産の収益力向上を通じ、収益基盤・財務基盤の強化を図ります。

【KCA SHIBUYA bldg.】

住所：東京都渋谷区神南一丁目22番1
用途：1～3階 店舗、4～11階 事務所 等



©2025 IT IMAGING

ビル南側エントランス入口



©2025 IT IMAGING

ビル正面から



©2025 IT IMAGING

東側からのビル全景



©2025 IT IMAGING

西側からのビル全景

【保有不動産の最適運用】

- 保有不動産全体の収益性・稼働状況を継続的に検証
- 資産の入れ替えや用途転換も含めた最適運用により、資本効率の向上を推進
- 安定的なキャッシュ創出を通じて、財務基盤を支える事業の1つとして展開



KCA・アクロスプラザ大分駅南

稔り豊かな未来に貢献したい
<https://www.katakuraco-op.com/>